



第70回都城市美術展大賞作品「追憶の形象20」上田雄二

都城市美術展 作品募集

都城圏域の芸術文化の向上と情操教育の振興および近隣市町との交流を図るため、令和7年度第71回都城市美術展を開催します。今回は、応募条件や「キャンバン特別賞」「ユース賞」など新たに設けられた賞についても紹介します。

◎問い合わせ 市立美術館 ☎25-1447



美術館
ホームページ

応募資格など

●**応募資格** 高校生以上（地域を問わない）

●**出品料** 1点当たり1500円
※22歳以下（平成15年4月2日以降に生まれた人）は無料。選外の場合でも返金はありません

●**出品点数** 1人3点まで

●**出品条件** 出品作品は出品者の創作で未発表のもの（公募展などに入選以上となっていないもの）に限る
※高校生に限り、高等学校総合文化祭に出品した作品も出品可

●**募集ジャンル** 絵画・彫刻・デザイン・写真・書・工芸・映像・その他

※展示取り扱い上、作品を【平面】・【立体】の分類で募集します
●**その他** 作品の規定など詳しくは、「第71回都城市美術展開催要項」を確認ください

賞

- ・大賞 20万円（1点）
- ・優秀賞 5万円（3点）
- ・優良賞 2万円（15点）
- ・特別賞「山田新一賞」5万円（絵画から1点）、「キャンバン特別賞」5万円（写真の技術を用いた作品）

作品展示

●**場所** 市立美術館 作品搬入口

●**入選** 9月30分～16時30分

●**搬出日時** 9月30分～16時30分

●**搬入日時** 8月23日（土）・24日（日）
9時30分～16時30分

作品搬入・搬出

審査委員（五十音順・敬称略）
青山浩之（横浜国立大学教育学部教授）書／池田美奈子（編集者、有限会社IIDJ）デザイン・工芸／倉石信乃（明治大学大学院教授）写真／南雄介（美術評論家）美術

●**場所** 市立美術館、市立図書館
●**期間** 9月13日（土）～28日（日）
※美術館は9月16日（火）・22日（月）が休館

住み慣れた地域で、 自分らしく暮らすために



自らの最期について考えたことや誰かと話し合ったことはありますか。誰しもいつか必ず直面する心や体の衰え。市では、市民一人一人が住み慣れた地域で最期まで自分らしく暮らし続けることができるよう、在宅医療・介護連携推進事業を通して「人生会議」の普及・啓発に取り組んでいます。

◎問い合わせ いきいき長寿課 ☎23-2685

やろつよ！「人生会議」

「人生会議（アドバンス・ケア・プランニング）」とは、もしもの時のために、自分にとって大切なことや希望する医療ケアなどを前もって自分で考え、家族など信頼できる人と繰り返し話し合うことです。

誰しも命に関わる大きな病気やけがをする可能性があります。命の危険が迫った状態になると、約7割の人は医療ケアなどを自分で決めたり、希望を伝えたりすることができなくなるというわれています。

最期まで自分らしく生きるための人生会議。自分の気持ちや望みを信頼できる人に知ってもらうことは、その人たちにとっても大きな意味を持ちます。思いを伝えることができるうちに話し合しましょう。

エンディングノートを書く

人生会議後は、話し合った内容をエンディングノートに書き留めましょう。エンディングノートは病気やけがで意思表示ができなくなってしまうても、家族など自分に代わって判断する人がその内容を知ること活用されます。

希望や思いが時間とともに変化したり、健康状態によって変わった

することもありますので、定期的に振り返り、何度でも繰り返し話し合い、書き直していきましょう。そして、家族や周囲の信頼できる人にエンディングノートを書いておくこと、や保管場所を伝えておく、「エンディングノートの内容」あなたの希望」を共有しましょう。

人生会議漫画・エンディングノートを 配布しています

住み慣れた地域で最期まで自分らしく生きるために、大切な人や信頼する人と話し合うきっかけにしてみませんか。

●配布場所

いきいき長寿課、各地区地域包括支援センター、都城市北諸県郡医師会（在宅医療・介護連携相談支援センター）、都城市・三股町の医療機関など



いきいき長寿課
主事
かこい 梶井
はるひ 遥陽